

1 2. 図書館について

(1) 図書館利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

(2) 図書館特別教育施設利用案内・・・・・・・・・・P6

図書館について

(1) 図書館利用案内

図書館は学生にとって教養と学習の場である。積極的に活用し充実した学生生活を送ってほしい。以下の説明をよく読んで有効に利用すること。

ア 開館時間

平日 8時40分から20時まで（長期休業期間は8時40分から17時まで）

イ 閉館日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始。

学校行事等で臨時に閉館するときは掲示等で連絡する。

ウ 閲覧

閲覧室には現在、図書約93,000冊、雑誌16種が配架されている。閲覧席は一般席67席、個人閲覧席13席、個室閲覧席を3席（1人90分利用できる、次の利用者がいない場合は延長も可）が配置されていて、どの席でも利用できる。

閲覧室は多数の人が共同で利用する所なので、他の利用者に迷惑をかけるような行為はしないこと。館内への飲食物持ち込み、携帯電話の通話は禁止する。

図書、雑誌は自由に書架から取り出すことができるが、読み終えた図書は書架の前に配置されている返本台に返すこと。

エ 資料を借りるとき

図書は5冊以内（雑誌含む）、2週間の期限で貸出をする。また、夏休みなど長期休業期間は長期貸出が受けられる。その都度、掲示等で連絡する。貸出を受けたいときは、学生証（学生課教務係で交付する、有効期限内に限る）と、資料をカウンターに提示して貸出処理を受けること。ただし、期限日までに資料を返却しないと貸出が受けられないので、注意すること。

オ 資料を返却するとき

貸出を受けた資料は、図書館内の返却台、又はカウンターに返却すること（学生証不要）

閉館時には、図書館棟入口、図書館入口の2カ所に設置しているブックポストに投函すること。ただし、開館中は使用出来ない。

カ 図書の探し方

本校の図書は開架図書の他に書庫、電動書架及び教員研究室にも備えられている。どのような図書を備えつけているかは次の方法で調べることができる。

① 現物を見る方法

開架図書、電動書架、書庫の図書は現物を直接見ることができる。これらの図書は本の背ラベルに記入されている番号順に配架されている。

この番号は日本十進分類法（NDC）という分類方法により分類番号を付けたもので図書の内容（主題）及び配架位置を表すものである。

② OPAC（オンライン蔵書目録検索システム）による検索

検索は書名（書名中の一部の単語のみでも可）、著作名（姓のみでも可）から、あるいはその組み合わせで検索できる。このほかに、NDCの番号からも検索できる。なお、学内LANに接続されているパソコンまたはインターネットから検索できる。（<https://www2.akita-nct.ac.jp/libra/>、または「秋田高専図書館」で検索）

現在、検索できる図書はコンピュータに図書データが入力されている約67,700冊だが、今後検索できる図書が増えていく予定である。

キ 電動書架及び書庫

電動書架及び書庫には研究用図書、学術雑誌がある。

ク 視聴覚資料

視聴覚資料としてCD、DVDがあり所蔵目録を閲覧室に備えている。

（ア）CD

CDは2点以内、1週間の期限で借りることができる。希望するときは、カウンターで学生証を提示して貸出処理を受けること。

（イ）DVD視聴設備

DVDは館内（DVD視聴席）での利用に限られている。

《設備》 DVD視聴席 1台

《利用申込方法》利用の際には学生証を預かる。カウンターで「視聴覚ブース利用申込書」に所定の事項を記入し、ヘッドホンを受け取り利用すること。

ケ 本のリクエスト（希望図書）

図書館では、「図書館においてほしい本」と「研究に必要な本」などの購入リクエストを受け付けている。カウンターにある「備付希望図書申込書」に記入の上、ポストに入れること。対象となる資料は、教養や学習・研究のための図書で、趣味や娯楽本、雑誌は対象外である。流通状況によっては、時間がかかる場合や絶版で購入出来ない場合がある。利用が可能になったら、希望者にはEメール等で連絡するとともに、優先貸出する。

コ 秋田高専図書館ホームページについて

<https://www2.akita-nct.ac.jp/libra/>にアクセスすることで閲覧できる。閲覧室の利用案内や開室カレンダーを掲載している。蔵書検索（OPAC）も可能である。

サ その他

図書館の利用について分からないことがあれば、図書館カウンターまで。

日本十進分類表
主網表(百区分表)

000	総記	300	社会科学
010	図書館・図書館情報学	310	政治学
020	図書・書誌学	320	法学
030	百科事典・用語索引	330	経済学
040	一般論文集・一般講演集・雑著	340	財政学
050	逐次刊行物・一般年鑑	350	統計学
060	団体・博物館	360	社会学
070	ジャーナリズム・新聞	370	教育学
080	叢書・全集・選集	380	風俗習慣・民俗学・民族学
090	貴重書・郷土資料・その他の特別コレクション	390	国防・軍事学
100	哲学	400	自然科学
110	哲学各論	410	数学
120	東洋思想	420	物理学
130	西洋哲学	430	化学
140	心理学	440	天文学・宇宙科学
150	倫理学・道徳	450	地球科学・地学
160	宗教	460	生物科学・一般生物学
170	神道	470	植物学
180	仏教	480	動物学
190	キリスト教・ユダヤ教	490	医学・薬学
200	歴史・世界史・文化史	500	技術・工学
210	日本史	510	建設工学・土木工学
220	アジア史・東洋史	520	建築学
230	ヨーロッパ史・西洋史	530	機械工学・原子力工学
240	アフリカ史	540	電気工学
250	北アメリカ史	550	海洋工学・船舶工学・兵器・軍事工学
260	南アメリカ史	560	金属工学・鋳山工学
270	オセアニア史・両極地方史	570	化学工業
280	伝記	580	製造工業
290	地理・地誌・紀行	590	家政学・生活科学

600 産 業
 610 農 業
 620 園 芸 ・ 造 園
 630 蚕 糸 業
 640 畜 産 業 ・ 獣 医 学
 650 林 業 ・ 狩 猟
 660 水 産 業
 670 商 業
 680 運 輸 ・ 交 通 ・ 観 光 事 業
 690 通 信 事 業
 700 芸 術 ・ 美 術
 710 彫 刻 ・ オ ブ ジ ェ
 720 絵 画 ・ 書 ・ 書 道
 730 版 画 ・ 印 章 ・ 篆 刻 ・ 印 譜
 740 写 真 ・ 印 刷
 750 工 芸
 760 音 楽 ・ 舞 踊 ・ バレエ
 770 演 劇 ・ 映 画 ・ 大 衆 芸 能
 780 スポーツ ・ 体 育
 790 諸 芸 ・ 娯 楽

800 言 語
 810 日 本 語
 820 中国語 ・ その他の東洋の諸言語
 830 英 語
 840 ドイツ語 ・ その他のゲルマン諸語
 850 フランス語 ・ プロバンス語
 860 スペイン語 ・ ポルトガル語
 870 イタリア語 ・ その他のロマンス諸語
 880 ロシア語 ・ その他のスラブ諸語
 890 そ の 他 の 諸 言 語
 900 文 学
 910 日 本 文 学
 920 中国文学 ・ その他の東洋文学
 930 英 米 文 学
 940 ドイツ文学 ・ その他のゲルマン文学
 950 フランス文学 ・ アロバンス文学
 960 スペイン文学 ・ ポルトガル文学
 970 イタリア文学 ・ その他のロマンス文学
 980 ロシア語 ・ ソビエト文学 ・ その他のスラブ文学
 990 そ の 他 の 諸 言 語 文 学

※さらに細区分された表は閲覧室内に案内板として掲示している。

(2) 図書館特別教育施設利用案内

図書館には閲覧室のほかに特別教育施設として談話ホール（ラーニング・commons）が設けられている。利用にあたっては次の事柄に留意のうえ、有意義に使用すること。

◎談話ホール（ラーニング・commons）

図書館でグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等、学生が話し合い、教えあいながら能動的に学習できるラーニング・commonsの場として活用してほしい。

また、学生及び職員相互の対話、休憩等に自由に利用できるほか、少人数での課外活動のミーティング等にも利用できる。